

第 26 回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会
原稿作成・提出要領

「地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会」の発表原稿は以下の要領にしたがって作成し、提出して下さい。

【注意】要領書は過去の要領書ではなく、最新の本要領書をご参照下さい。

1. 発表内容及び原稿執筆に当たっての諸注意

- (1) 講演集用原稿の執筆につきましては、当該研究集会の趣旨をご理解いただき、下記の事項に配慮願います。また、書式等詳細につきましては、別添の「原稿執筆要領」をご参考ください。
- (2) 発表題目は発表内容を適切に表現したものとし、工法や技術の特色が反映された題目をお願いいたします。特定の商標名等を題目に使用することはできません。また、執筆内容が商業的宣伝に偏ることがないように配慮ください。
- (3) 研究・開発された工法や技術の効用をただ単に紹介するだけでなく、実験データや解析データ等を用いた「考察」並びに研究内容の「まとめ」も章立てして併せて記述ください。
- (4) この研究集会は幅広い分野における最新の研究成果を、参加者全員で共有することを目指しています。必ずしも発表内容の予備知識を持っておられない方々も参加されます。原稿書き出し部分で、発表内容の位置付けや内容の特色を平易に記述ください。
- (5) 発表内容は学会等で発表済みのものでもかまいませんが、当該研究集会用に再構成して新たに作成していただくことが必須です。著作権等法に触れる可能性もありますので、図表等についてもできるだけ新たに作成して下さい。また、発表学会名あるいは発表誌等を必ず明記して下さい。二重投稿を疑われないように記載には十分にご注意いただけますようお願いいたします。
- (6) 投稿者あるいは筆頭著者のみならず共著者も発表内容に責任を負うことになります。
- (7) 内部報告書や日報等の体裁で執筆したかのような原稿の投稿は固くお断りいたします。必ず、当該原稿執筆要領に則した書式に書き改めて原稿をご作成いただけますようお願いいたします。
- (8) 当該研究集会では発表原稿の内容についての査読は行いません。誤字・脱字・英文誤訳等は著者責任となります。ただし、書式等において当該原稿執筆要領に則していない個所については修正をお願いする場合があります。ひとつの講演集として全体の体裁を整えるためですので、修正依頼があった場合は、ご対応いただけますようお願いいたします。

なお、執筆内容が商業的宣伝に偏り、本研究集会の趣旨にそぐわないと実行委員会で判断した場合は講演集への掲載及び発表をお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。

商業的宣伝に偏るとみなされる具体的な例

- 表題に特定商標名（〇〇工法など）を入れること⇒一般的な技術を表す名称を使って下さい。
- 「国内初」「新規」「初めて」といった表現⇒これらの表現が妥当であるか、十分注意して下さい。
- 文章や図にカタログのような商業的表現を用いること。

2. 提出物の種類及び内容

第 26 回研究集会における事前提出物は、PDF 形式で講演集として収録される「講演集用原稿」と「チェックシート」です。

2.1 講演集用原稿

- (1) A4 判（白色、縦置き）、Word2007 以降の形式で「**原稿執筆要領**」に従った書式で作成して下さい。
- (2) 原稿執筆要領に従った書式を「**原稿書式の雛形**」に示します。**必ず、この雛形ファイルをダウンロードして、上書きして原稿を作成して下さい。**

注意：提出された原稿の書式、記載方法等の修正が必要な場合、実行委員会から修正依頼の連絡をさせていただきます。原稿執筆要領の規定から大きく逸脱したままの発表原稿は、不採用となり一般参加に振り替えさせていただきます。

- (3) 枚数：**2~6 ページ厳守**（容量は 1.5 MB 以内）
- (4) 作成した Word 原稿を PDF 形式に変換して保存するファイル名を、**参加受付番号（A + 数字 5 桁） + 発表者名**として下さい。
＜例＞ 参加受付番号が A00001 で、発表者が地下水花子の場合： A00001 地下水花子.pdf
- (5) 作成した PDF ファイルを研究集会ホームページのリンク先からアップロードして下さい。

2.2 チェックシート

- (1) 「チェックシートの Word ファイル」をダウンロード（パソコンに保存）して、講演集用原稿を提出する前に、それぞれのチェック項目を確認（チェック欄に入力）して下さい。
- (2) 作成前には、「第 26 回研究集会原稿 チェックシート」と記載されていることを確認して下さい。
- (3) 発表題目が原稿の題名と一致していることを確認して下さい。
- (4) 執筆者と執筆者の所属（所属は大学名のみ、企業名のみ簡潔に記載して下さい）をチェックシートに明記して下さい。**執筆者数は 6 名以内**とし、**口頭発表者の前に○を付け**、所属は株式会社、（株）、一般社団法人、（一社）等を**削除**して**可能な限り短い名称**でお願いします。海外の企業についても同様に Inc.、有限公司等は**削除**をお願いします。
また、このチェックシートでは執筆者の所属機関の記載は各 **1 機関のみ**としてください。原稿については、複数の機関を記載いただいてもかまいません。

＜例＞ 地盤太郎・○地下水花子（土壌環境センター）・水環境次郎（水環境大学）・廃棄物一郎（□□エンジ*）・地圏岩男（産総研**）

備考：*エンジニアリングでもかまいません。**産業技術総合研究所でもかまいません。

- (5) チェックシートに記載した題目及び執筆者氏名（所属）がプログラムに記載されます。**原稿及びチェックシート提出後の変更はできません**のでご注意ください。
- (6) 確認が終了したチェックシートを保存するファイル名を、**参加受付番号の数字部分 5 桁 + 発表者名**として下さい。
＜例＞ 参加受付番号が A00001 で、発表者が地下水花子の場合： 00001 地下水花子.docx
- (7) 確認済みチェックシートを研究集会ホームページのリンク先からアップロードして下さい。

3. 提出について

第 26 回研究集会から提出方法が変更になりましたので、ご注意ください。

3.1 提出方法

第 26 回研究集会ホームページ (<http://www.gepc.or.jp/kenkyu/26th/index.html>) のリンク先から原稿及びチェックシートをアップロードしてご提出下さい。

3.2 提出部数

- (1) 講演集用原稿：PDF ファイル 1 ファイル
- (2) チェックシート：Word ファイル 1 ファイル

3.3 アップロード及び提出期限

2021 年 2 月 25 日 (木) 23:45 厳守

締切日時は厳守願います。システム上、期限後の提出は不可能ですので、ご注意ください。

(提出期限延長等の相談はお断りさせていただきます。締切日時までに原稿が提出されない場合、発表登録は一般参加に振り替えさせていただきます。)

4. 提出原稿の取扱いについて

提出いただいた原稿の査読は行いませんが、商業的宣伝の有無、書式等についての確認を実行委員会が行い、修正が必要と判断された原稿については修正依頼の連絡をさせていただきます。また、原稿執筆要領の規定から大きく逸脱したままの原稿は不採用となり、発表申込を一般参加に振り替えさせていただきます。

本研究集会の講演集に掲載された原稿の著作権は、執筆者本人に帰属します。

5. 口頭発表原稿について

目 的 : 壇上での口頭発表時 (**3 分程度、変更有**) にスクリーンに映す原稿 (書画カメラを使用)。

形 式 : 普通紙 A4:2~3 枚、フォント 24pt 以上で作成ください。
日本語あるいは英語で作成して下さい。

提出期限 : 当日、発表者がプリントアウトして持参下さい (事前提出不要)。

6. ポスターについて

目 的 : 個別討議用にポスター会場に掲示する。

サイズ : サイズ幅 0.85 m、高さ 1.8 m の掲示スペースに収まるもの (1 枚でも複数枚でも可)。

形 式 : 発表者の自由 (**注意点：商品カタログ等の掲示は固くお断りいたします。**)
日本語あるいは英語で作成して下さい。

提出期限 : 当日、発表者が持参ください。

(※事前に会場及び事務局宛て等には送付しないで下さい)

なお、ポスター内容が商業的宣伝に偏り、本研究集会の趣旨にそぐわないと実行委員会で判断した場合は、発表をお断りし、ポスターを撤去いただくことをご了承下さい。

口頭発表及びポスター発表につきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う社会情勢により **WEB**開催など発表形態の変更または開催中止の可能性がありますので、あらかじめご了承のほど宜しくお願いいたします。

また、発表形態の変更または開催中止になった場合でも、受理された講演原稿につきましては、講演集への掲載及び発行をもって講演発表は成立したものとさせていただきます。

お問合せ・掲載申込先

一般社団法人 土壌環境センター 研究集会事務局
担当：木下
kinoshita@gepc.or.jp
〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 KS ビル 3 階
TEL：03-5215-5955 FAX：03-5215-5954